

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2017年3月8日）

■改訂第2版 第6刷（2016年6月20日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所は http://www.yodosha.co.jp/correction/9784758108737_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第3章					
36	右段上から3行目	摂取比率は4:1が望ましい	摂取比率は4:1～5:1が望ましい		16/11/18
第7章					
71	表1		区切り線の修正	※1参照	16/11/18
第9章					
90	図1	GLUT5の右の四角	SGLTの名称を追加	※2参照	16/11/18
99	右段上から9行目	α -1,4グルコシド結合	α -1,4グリコシド結合		17/03/08
101	右段上から5行目	アミノ酸とグリセロールは、飢餓時においてグルコースがエネルギー源として利用できない脳や赤血球へのグルコース供給に優先して利用される。これに対して乳酸は、飢餓時でのグルコース供給には寄与しないものの、筋肉と赤血球で産生され血中に放出された乳酸を血液から除去するのに役立っている。	アミノ酸とグリセロールは、飢餓時においてグルコースを産生する材料となり、グルコースのみをエネルギー源として利用する脳や赤血球へのグルコース供給に優先して利用される。これに対して乳酸は、飢餓時のグルコース供給には寄与しない。平常時、筋肉と赤血球で産生される乳酸を血液から除去するために糖新生が行われている。		17/03/08
第11章					
128	右段下から9行目	そうならないためにも、 活性をもたない酵素の前駆体 として合成している。この前駆体を	そうならないためにも、“ 活性をもたない状態の酵素(酵素前駆体) ”として合成している。この 酵素前駆体 を		17/03/08
第12章					
145	図2中の表、名称の2行目	一重項 酸酸素	一重項 酸素		16/11/18
第13章					
150	図1			※3参照	17/03/08

図表

※1

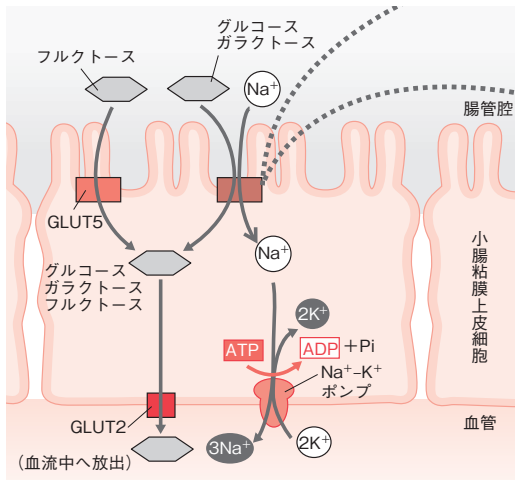
表1 脂溶性ビタミン（4種類）

名称	化合物名	機能	欠乏症	過剰症
ビタミンA	レチノール	視覚機能	夜盲症	食欲不振
	レチナール	細胞の分化		胎児奇形
	レチノイン酸			
ビタミンD	エルゴカルシフェロール	骨代謝	くる病	高カルシウム血症
	コレカルシフェロール		骨軟化症	腎障害
ビタミンE	トコフェロール	抗酸化作用	溶血性貧血	なし
	トコトリエノール		不妊	
ビタミンK	フィロキノン	血液凝固	新生児メレナ	なし
	メナキノン		頭蓋内出血	

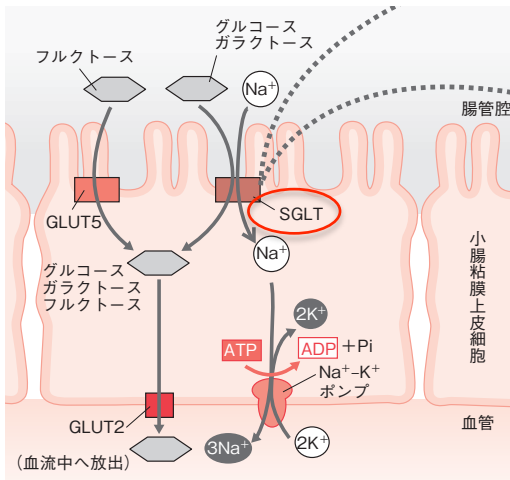
表1 脂溶性ビタミン（4種類）

名称	化合物名	機能	欠乏症	過剰症
ビタミンA	レチノール	視覚機能	夜盲症	食欲不振
	レチナール	細胞の分化		胎児奇形
	レチノイン酸			
ビタミンD	エルゴカルシフェロール	骨代謝	くる病	高カルシウム血症
	コレカルシフェロール		骨軟化症	腎障害
ビタミンE	トコフェロール	抗酸化作用	溶血性貧血	なし
	トコトリエノール		不妊	
ビタミンK	フィロキノン	血液凝固	新生児メレナ	なし
	メナキノン		頭蓋内出血	

※2 誤



正



※3 コハク酸とスクシニルCoAの間の矢印を双方向の矢印にする

